

呼び込みファイルについて

1. ファイル形式について

- (1) 呼び込みファイルの形式は、文字コードUTF-8になっています。文字化けするときは文字コードを変更して下さい。なお、エクセルなどを使ってテキスト保存したときはASNI形式が多いので注意して下さい。また、データの区切りは「,」を使用しており、データの終端にも「,」が必要です。
- (2) ファイルが保存されている場所は、資料整理.exeと同じフォルダ内にあるdata部に保存されています。

2. 問題2の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdataで、ファイルの名前は、TSEST5.txtです。
- (2) テキストは,
ハンドボール投げ, 100, m, 16, 12, 27, 18, 18, 23, 2 22,
100はm以下の個数で、16, 12~22までの個数が100個あることを意味しています。
- (3) テキストを変えたいときの注意は、1番目のデータが表示したい項目名、2番目が100でデータ数、3番目が単位、4番目以降はデータとなります。データ数を変えたいときは、2番目の呼び込み数を変えれば変更できます。ただし、相対度数が四捨五入のため合計が1にならないときがでてきます。
- (4) 問題2のプログラムは、1回目の呼び出しはTEST5.txtを呼び込みますが、2回目以降は項目はソフトボール投げ、データはランダムに数字を発生させ処理しています。したがって、自分の望むデータをつくりTEST5.txtとした時は、1回目の処理に現れます。

3. 問題3の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdataで、ファイルの名前は、TSEST4.txtです。
- (2) テキストは,
ハンドボール投げ, 100, m, 16, 12, 27, 18, 18, 23, 2 22,
と問題2の形式と同じです。
- (3) テキストを変えたいときの注意は、1番目のデータが表示したい項目名、2番目が100でデータ数、3番目が単位、4番目以降はデータとなります。ここでの処理はデータ数が100に対応していますので、2番目のデータは100で、データ個数100にしなければなりません。項目や単位は変更可能で、データ数が整数の100個なら処理できます。
- (4) 1回目の処理はテキストファイルのデータ、2回目以降はランダムデータです。

4. 問題4の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdata¥2021で、ファイルの名前は、2021101札幌平均からです。

- (2) テキストは,

札幌市, 平均気温, °C, 2021, 1, 31, -10. 4, -8. 5, -6. 3, -6. 4, -6. 8, -7. 4, -6. 1 -4. 4,
というデータで, 表示は

Form41の場合 資料は2021年3月の札幌市の平均気温31日間の . . .

Form93, Form94の場合 下の表は, 札幌市の2021年3月の平均気温
としています。

従って, 1番目, 2番目, 3番目, 4番目, 5番目の項目は問題の表示用です。

- (3) 6番目の31は月数ですが, この数はテキストファイルを読み込むときの回数にも利用されています。データを変更するときは, 問題が月数に対応し, 単位が°Cになっていますので注意が必要です。

5. 問題5の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdataで, ファイルの名前は, 7-30. txtと70-30-2. txtです。

7-30. txtは画面用のデータで相対度数が小数第4位まで, 7-30-2. txtが小数第2位までのもので, 合計すると1になるように値を調整したデータです。

- (2) テキストは,

210, 1, 1, 1, 1, 0, 0, 1, 1, 0, 2, 1, 1, 1, 2

で1番目がデータ数を表しています。データは210を除いて30個毎に並べ直すと

1, 1, 0, 0, 1, 1, 0, , (横に30個)

2, 1, ,

4, 2, ,

5, 5, ,

4, 9, ,

2, 5, ,

2, 2, ,

(縦に7個)

となり, 縦に7データを1グループとして作り直して処理しています。つまり30通りのパターンの度数を使用しています。データを変更するときは, データ数210で上記のことを考慮しなければなりません。

6. 問題6の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdata¥syoriで, ファイルの名前は, s1. txt~s20. txtです。

- (2) テキストは,

1, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21,

で, 1番目が画面に表示される「○番目の資料」という項目の○を示します。その後のdataは21個で0~20の階級の度数に対応しています。データを変更するときは1番目が項目名,

その後21個の度数データをつけます。ただし, 度数データは0以上25以下の整数でなければなりません。また, 画面上では度数の値はテキストになっていますので, 直接変更が可能

です。

7. 問題7の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdata¥processで、ファイルの名前は、2016-2021札幌7月最高気温.txt~です。
- (2) テキストは,
2016~2021年の札幌市7月の日ごと最高気温, 30.5, 34.9, 33.9, 33.5, 29.3, 35.1, . . .
. 3.5, 6.4, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, -7-max,
1番目は項目, 2番目以降はデータ $6 \times 7 = 42$ 個, 次に2016~2021の項目のタイトル, 最後に-7-maxなどがつきます。最後のデータは, data¥dosuにあるjpgの図形データを呼び込むためのデータです。
呼び込みは, 例えば2016-2021札幌7月最高気温.txtを呼び込んだとすと, 2016-7-max~2021-7-maxまで自動的に呼び込まれます。つまり, 2016から2021のタイトルと-7-maxの組み合わせた図形データを呼び込むようにしています。
- (3) データを変更したいときは, data¥processにあるtextの最後のデータ例えば-7-maxが, data¥dosuにある画像データと関連付ける必要があります。このプログラムでは, タイトルの2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021の名前と-7-maxなどを連結させた名前の画像で, 画像はjpg形式のものでなければなりません。
また, 画像を作るときは問題4(気温統計)が呼び込めるデータを作成し, ヒストグラムをコピーして必要な部分を抜き取る方法が簡単だと思います。

8. 問題8の呼び込みテキストファイルについて

- (1) 保存されている場所はdata¥city2021で, 2種類のファイルがあります。
- (2) 1種類目は, 2019年月毎の最高気温, 最低気温, 平均気温と2021年の最高気温, 最低気温, 平均気温で, テキストは
札幌市2021年月毎最高気温, 12, 6.2, 7.5, 18.3, 1, 11, 12,
で1番目は, 画面に表示される項目, 2番目は12月分を意味する12, 以下は $12 \times 7 + 12$ のデータです。
 12×7 のデータは

最大値	12ヶ月分	
最小値	12ヶ月分	
平均値	12ヶ月分	
中央値	12ヶ月分	で 12×7 のデータ
第1四分位数	12ヶ月分	
第3四分位数	12ヶ月分	
四分位範囲	12ヶ月分	

このあとに 1月から12月の 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, が続いています。
2種類目は, 2008年~2021年までの最高気温, 最低気温, 平均気温のそれぞれの

データです。

札幌市の2008～2021年の1日における最高気温, 14, 31. 4, 31. 2, 34. 1, . . . , 2021, で1番目は, 画面に表示される項目, 2番目は14年分を意味する14, 以下は $14 \times 7 + 14$ のデータです。

14×7のデータは

最大値	14年分	
最小値	14年分	
平均値	14年分	
中央値	14年分	で14×7のデータ
第1四分位数	14年分	
第3四分位数	14年分	
四分位範囲	14年分	

このあとに 2008年から2021年の2008, 2009, . . . , 2020, 2021, が続いています。

9. 気象データの入手について

気象庁ホームページ>各種データ・資料>過去の気象データ検索>日ごとの値から引用。なお, 過去の気象データ検索で日本の各地を検索可能です。また, excelでまとめ必要なデータを notepadにコピーし, 空白を「,」に置換しデータを一行に並び直しました。